

UXプロジェクト基本計画の全体像

1. UXプロジェクトの背景と目指す姿

① ライフサイエンス分野における熊本県の強み

- 水資源に代表される豊富な天然資源、全国トップクラスの農業生産
- 理工系の大学や学部、高専等から多数輩出される産業人材
- 創薬の研究等医療・薬学分野での高度な研究
- 医療、健康、食品等の分野のベンチャー企業の活躍

※本プロジェクトにおいて、ライフサイエンス分野とは、「医療」「介護」「健康」「食」「ビューティー」「スマート農業」等の分野を指す

② 阿蘇くまもと空港周辺地域における拠点性の高まり

- 半導体や自動車関連分野を中心に数多くの企業が立地
- 阿蘇くまもと空港とその周辺地域の活性化のための「大空港構想Next Stage」の取組み

本プロジェクトの
目指す姿

ライフサイエンス分野の強みを活かした
県内産業の「第3の柱」の創出

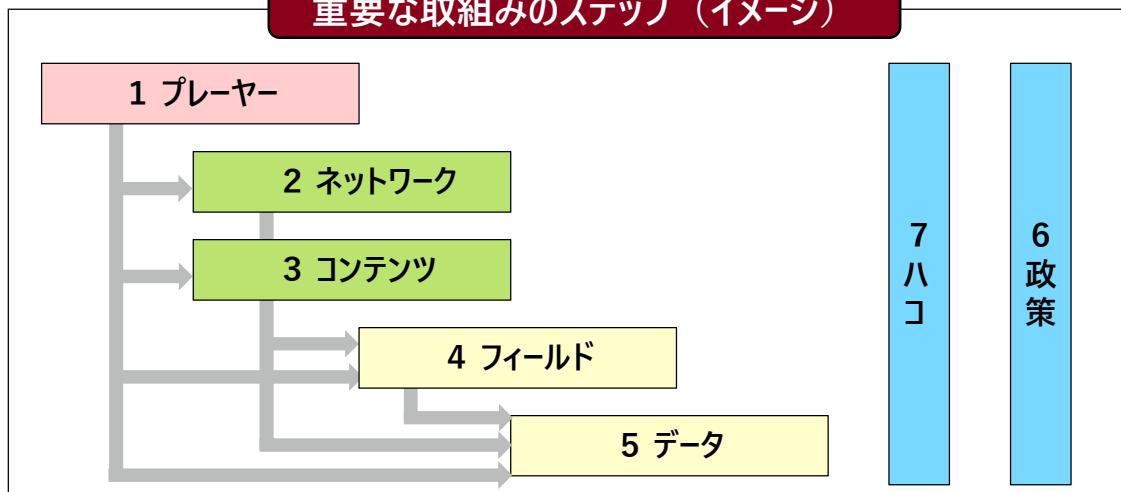
知の集積

全国から起業家・企業・研究者等が集い、生まれることによる賑わいの創出

2. 基本計画の位置付け及び期間

位置付け	賑わいの創出に向け、まず必要となる重要な取組みを示したもの
期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度） ※社会環境の変化やプロジェクトの進捗に応じて見直しを行う

重要な取組みのステップ（イメージ）



3. 基本計画における重要な取組み

1 プレーヤー

求心力のある人材を呼び込み、活躍の場と成長の機会を創出するとともに、プレーヤーを育成し、量と質を高めます。

- スローガンの対外発信等による人材の発掘と呼び込み

- 人材育成プラットフォームの構築と運用

2 ネットワーク

企業・研究機関等や国内外のエコシステムとつながる機会を提供し、連携を促進します。

- オープンイノベーションプログラムと実証実験機会の提供

- つながる機会とクロスする場を通じた連携関係の構築

- 専門人材の配置による連携の促進

3 コンテンツ

各段階に応じて伴走する体制を「チーム熊本」として整えるとともに、アイデア創出段階での参画者を増やす仕組みを構築します。

- 「チーム熊本」の組成及び連携したサポートの実施

- イノベーションのアイデア創出のための学生・研究者向けプログラムの提供

- イノベーションの持続的な創出のための資金供給体制の整備

4 フィールド

プレーヤーが求める実証要件と、そこで実施できる座組みを準備し、小さく始め、すぐに実証できる場を提供します。

- 他県ではできない実証実験フィールドの提供と規制の見直し

5 データ

ビジネスに結びつく様々なデータにアクセスできるよう、順次整理していきます。

- データ連携基盤の構築

- 熊本県医師会・熊本大学との連携体制の構築

- 県・市町村・企業等が有する各種データとの連携

6 政策

県・市町村や国の取組みと十分連携し、プレーヤーを支援していきます。

- 行政側の長期的な支援体制の整備

7 ハコ

プレーヤー同士が交流する場や共同実験を行うための施設を提供します。

- イノベーションハブ、コワーキングエリア、共同実験エリアの整備